

平成 22 年度 第 3 回 日本獣医がん学会 総会 議事録

日時：2010 年 7 月 11 日（日）13:30～13:55

場所：麻布大学 8 号館記念ホール

1、議長選出

推薦により熊本県開業の松山先生が選出された

2、報告事項

1) 事業報告

(1) 会員数 (2010 年 3 月 31 日現在) : 会長

会員総数：1615 名

正会員：1537 名 準会員：77 名 賛助会員：13 社

名誉会員：1 名

(2) 第 1 回・第 2 回学会報告 : 会長

第 1 回学会

正会員：382 名 準会員：20 名 非会員：64 名

学生：62 名 講師他：76 名 関係者：29 名 参加者合計：623 名

第 2 回学会

正会員：366 名 準会員：16 名 非会員：59 名

学生：8 名 講師他：69 名 関係者：26 名 参加者合計：544 名

2) 各委員会報告

1, 獣医腫瘍化認定医認定委員会 (石田先生)

・2010 年 10 月 3 日 認定医 1 種 1 次試験 28 名受験予定 前回からの変更事項としては、試験室が 4 つになるということ。

・2010 年 7 月 11 日 認定医 2 種試験 153 名受験予定 現取得者 198 名 合格発表は 9 月末予定

・がん学会の認定医更新制度についての変更案は、具体的には更新に条件をつけることで了解をいただいている。その内容は論文の作成を含めるというもので、内容をつめて次回の理事会、総会にはかれるようにする。

・獣医臨床腫瘍学テキストの作成を検討している。内容は 2 種認定医試験の受験対策用で、がん学会の講習のガイドラインに添った形で作成する。内科・外科部会と連絡を取り、講師を選択しテキストを作成していく。

2, 学会企画委員会 (川村先生)

・次回の学会開催の日時は 2011 年 1 月 29 日、30 日を予定している。場所は大阪科学技術

センターで行う。同時に麻酔外科学会も開催するとのことで、再度日程の検討をする。メインの内容は雄性生殖器腫瘍。

3、雑誌編集委員会（藤田先生）

・第2号が今月末までに電子ジャーナル化が決定している。あと2号分が掲載される予定である。

- ・年間4冊発行することを目標にしてきたが、現在は順調に進んでいる。
- ・今後多くの投稿が必要になってくるので、数多くの先生方からの論文を募集している。
- ・電子ジャーナル化に伴い、海外からのアクセスもきていることを報告する。

4、JONCOL 編集委員会（児玉先生）

・現在9号の編集中で9月1日に発行予定。同時に10号の編集も進めている。

・掲載された症例発表の英文タイトルについて、石田先生に監修協力をご依頼し、ご快諾いただいた。

3) 獣医内科学アカデミー（JCVIM）の協賛に関して（杉山先生）

・6月16日に内科学アカデミーの説明会に出席し、正式に執行部からプログラムの協賛について依頼を受けた。第一次参加申込み締め切りが7月20日と目前に迫っているため、早急な対応が必要である。

4) その他 特になし

3、審議事項

1、2009年度日本獣医がん学会収支決算報告：井上会計監事 **別紙**

2、2009年度日本獣医がん学会：会計監査報告と承認：堀会計監査

1、2ともに承認された

3、2010年度予算案の承認：信田会長

別紙

承認事項として予算案とともに新規事業の承認を得たい。内容は、遠方で学会参加が難しい会員に対して、メインシンポジウムを撮影しネット配信するというもので、これに関するの予算として200万円計上している。配信方法等、細かな事案は検討中である。再度1月の理事会を経由して承認されるようにする予定である。

承認された

4、第4回獣医がん学会開催の承認：企画委員長、信田会長

・2011年1月29日30日、大阪科学技術センターで予定している。

・補足事項（信田会長）

今後の学会方針として、土曜日の午前・午後は内科、外科の症例検討を行ってきたが、それらの内容・企画に関しては、部会活動の一環として各部会で実行していく。また、日曜

日のメインテーマは本企画委員会が実行していく。この内容は先ほどの理事会で承認を得ている。

・7月は麻布大学で行うため部屋の確保ができいろいろな企画ができたが、1月の大阪では部屋の確保と費用の問題で実行できないことも多い。1月の学会では土曜には症例検討と講習会、日曜日はメインテーマをする予定である。これらを合わせて承認を得たい。

承認された

5, JCVIM 協賛企画小委員会設置と委員長の選出：信田会長

昨年の第1回学会には、その前の執行部の藤田会長の状況を統合しようということであった。今回からがん学会としてきちんと対応しようと動いていた。学会としてはアカデミー参加の小企画委員会を、本学会の企画委員会とは別に設けたい。企画委員長として、渉外・広報担当の杉山先生にお願いし、委員も幅広く募った。その結果、開業医代表として浅葉先生、一般の2次診療施設の代表として日本高度医療センターの市川先生に、すでに快諾をいただいた。この総会で承認いただければ、参加申し込み締め切りが目前のため、すぐに中堅・若手の先生方で、さまざまな企画を考えていただきたい。

承認された

6, その他

質問事項：次回の日程について、獣医麻酔外科学会とかぶってしまう日程だが、1週ずらすよう努力していただくと理解したが、それでいいのか？（廉澤先生）

信田会長：前回学会の理事会で1月の学会開催日時は1月29日、30日で承認を得た。しかし、麻酔外科学会とかぶってしまうため、執行部は全力を挙げて1週ずらすよう努力している。しかし、会場等の問題もあるため、最悪はこの日程で行われる。承認を得るとすれば、1週予定が繰り上がることもあるという内容で、承認を得たい。

承認された

質問事項：学会の内容について、土曜日の外科・内科の症例検討だが、それ以外にも放射線や臨床研究部会などがあるので、そこにも枠が欲しい。（南先生）

信田会長：当然含むべきだと考えている。大きく別けると内科・外科だが、その中に放射線、臨床研究も入って企画をしていく。今回の提案の目的は、本企画委員会が症例検討の企画をするのではなく、各部会で議論しよい症例検討ができるようにすることである。当然各部会が参加できる。ただし、1月は場所の都合上できない可能性がある。

承認された

文責：保坂 創史